

増進型地域福祉とは何か？



桃山学院大学 小野達也

福祉はマイナスイメージ？

- 「関わりたくない福祉」
- 「避けたいものとしての福祉」
- スティグマ

増進型地域福祉とは

- 増進型地域福祉は、**幸福としての福祉の実現**を目指します。
- マイナスからゼロ（旧状復帰）を目指すではありません。**理想の状態**（こうなったらいいなあ）を本人とともに描き出し、共同の実践によってその実現を目指します。
- その結果として、**一人ひとりの幸せと地域の幸せ**をともに生み出す地域福祉です。
- 増進型地域福祉に関わることによってその人の・その地域の**可能性が開きます**。

なぜ増進型地域福祉か①

2000年以降

地域福祉の 主流化 政策化

地域共生社会とは？

- ①『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、
- ②多様な主体が『我が事』として参画し、
- ③『丸ごと』つながることで、
- ④暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すもの

*** 地域福祉の「質」が問われている**

なぜ増進型か②

世界基準は幸福Well-beingへと動き始めている

- 国連

GDPから新しい豊かさへ（幸福度）

世界幸福度ランキング 日本は？

- OECD

良い生き方＝生活

How's Life? Measuring Well-being.

『OECD 幸福度白書』2011、2013、2015、2017、2020

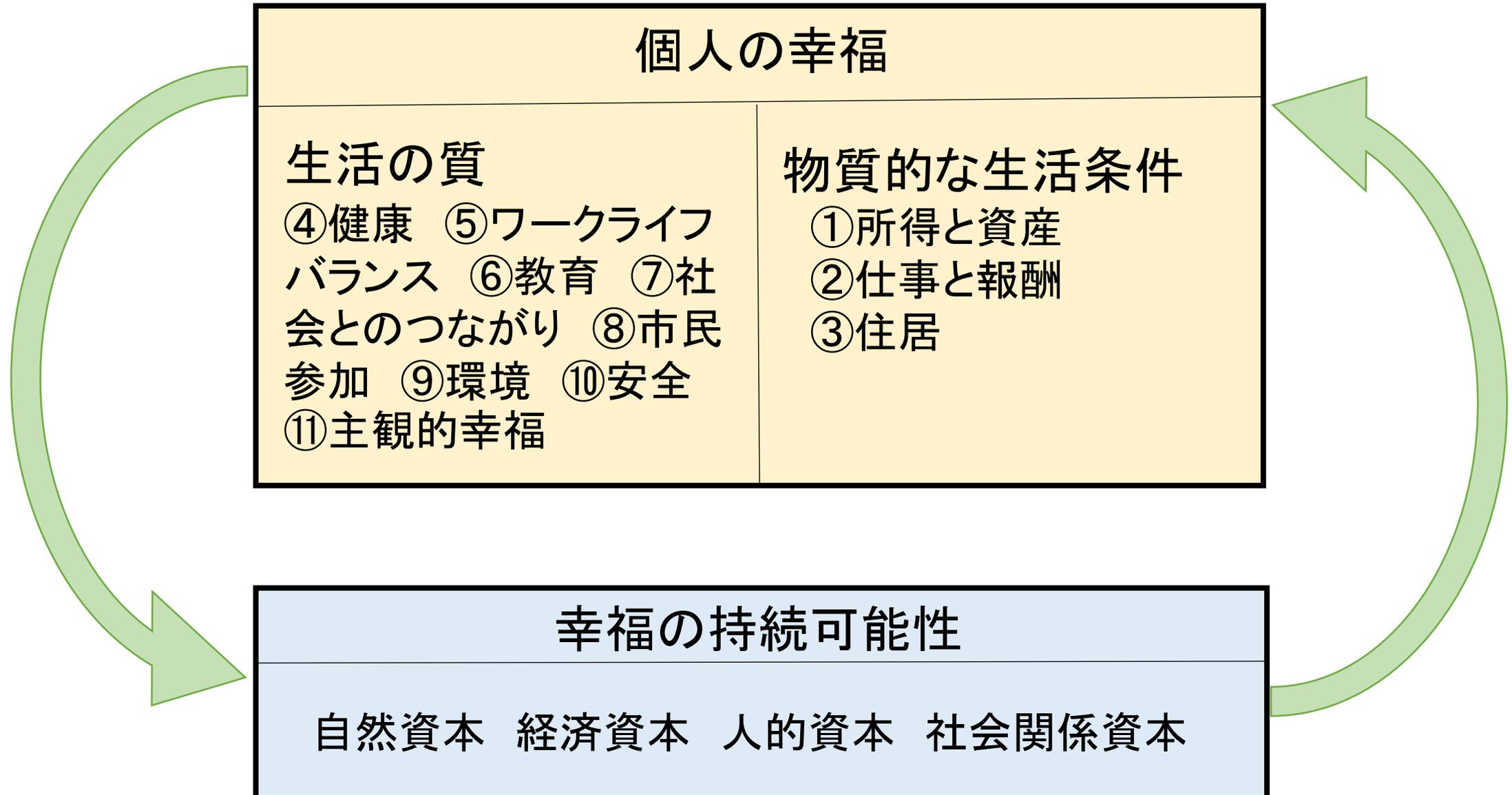
世界の幸福研究の動向 論文数

well-being or happinessを論文タイトルに含む論文
SCOPUSによる検索 2021年3月2日

年代	「幸福」論文 本数
1970－1979年	307
1980－1989年	1,051
1990－1999年	2,407
2000－2009年	7,037
2010－2019年	22,730

OECDの幸福の枠組み

OECD(2015:28)を引用者一部加工



ソーシャルワーク専門職のグローバル定義 (2014)



・・・ソーシャルワーク
は、生活課題に取り組み
**ウェルビーイングを
高めるよう、**人々やさ
まざまな構造に働きか
ける

背景③ だが、もう一方にある危惧

- 社会的格差の拡大／社会的排除の進行
- 少子高齢・人口減少 介護問題 生活困窮
- 地域社会の荒廃、空洞化
- 環境・自然問題の深刻化
- 各種対立・軍事的紛争の危機
- 民主主義・市民社会の無力化
- 多様化・複合化する地域生活課題
- コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻

福祉の二極化を超えていく必要

幸福への関心に基づく福祉
個人の自己実現と地域社会の継続発展

この方法をつくっていく

幸福実現を志向する
増進型地域福祉

生存が脅かされることに対する福祉
社会的排除・貧困・介護等の基本的生存保障

今や、多くの人々が福祉にかかわる時代

- 超高齢社会（2025年は高齢化率3割、後期高齢者の方が多くなる）
- 子どもの支援の重要さ（子どもの貧困は1割を超える）
- 生活保護・生活困窮を支える（206万人＋ α ）
- 障がいを生きる（3障害で約1000万人）
- 単身世帯数 2015年には1842万人 7人に1人（15%）
- 多様性の社会＝性的、民族的、国的マイノリティ？
- こうした時代に対応する福祉のイメージへ

もともと語義からすれば

福祉 = 幸福

それもとびきりの！

☆福祉観の転換へ

- 福祉は幸福をつくること
- 福祉にかかわること
⇒よりよい生き方ができるようになる
⇒よりよい地域社会が生まれていく
そうならば
- 「福祉はかかわりたくないもの」ではなく
- 「ぜひ関わってみたいもの」に変わる

増進型地域福祉の目指す幸福

ウェルフェアとウェルビーイング

くらし向きの良さ



その人らしさ
その地域らしさの
実現
(相互実現)

ウェルフェア

ウェルビーイング

増進型地域福祉の目指す幸福の三角錐

ウェルフェアとウェルビーイング

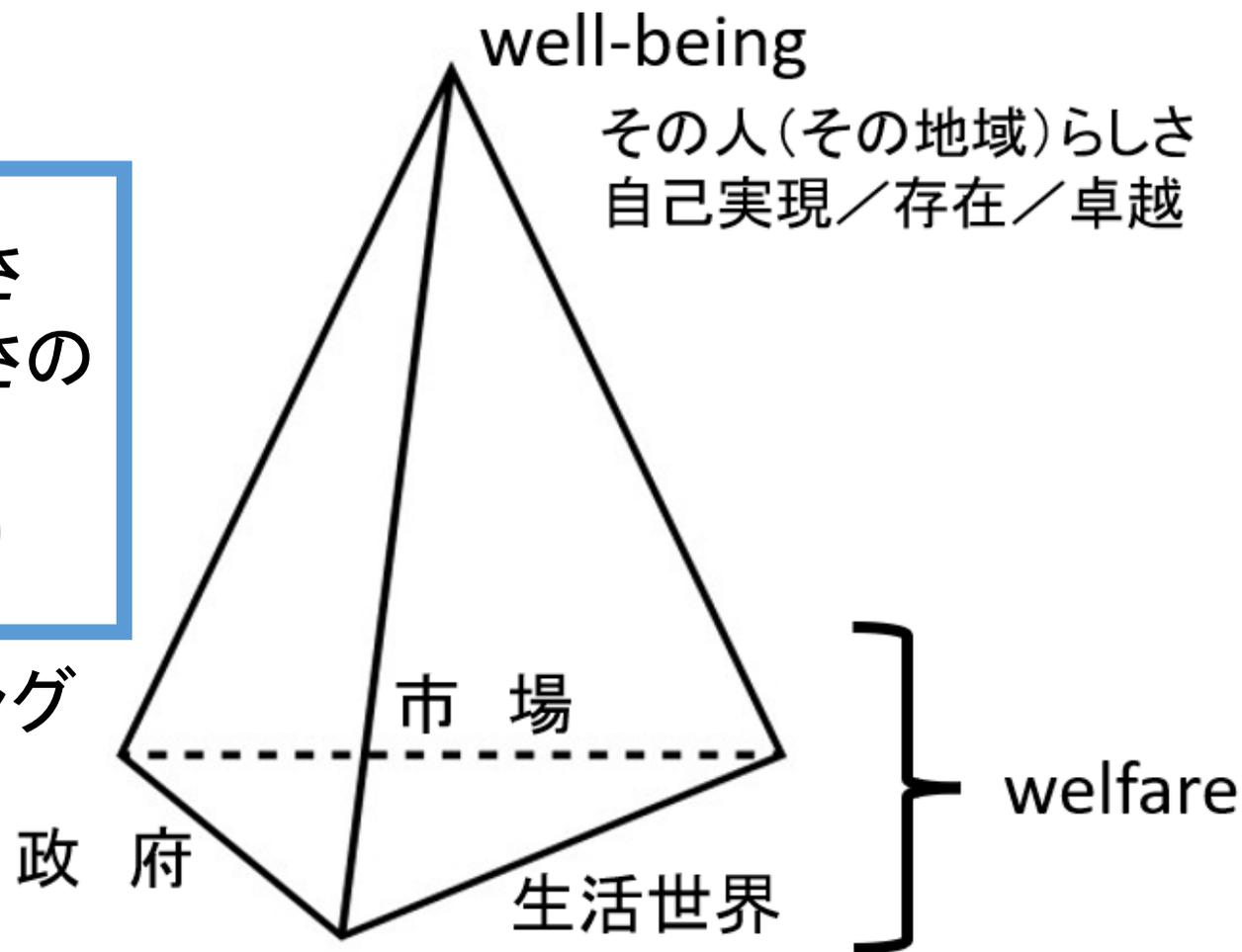
くらし向きの
良さ

ウェルフェア



その人らしさ
その地域らしさの
実現
(相互実現)

ウェルビーイング



問題解決型から 目的実現型のアプローチへ

問題解決型

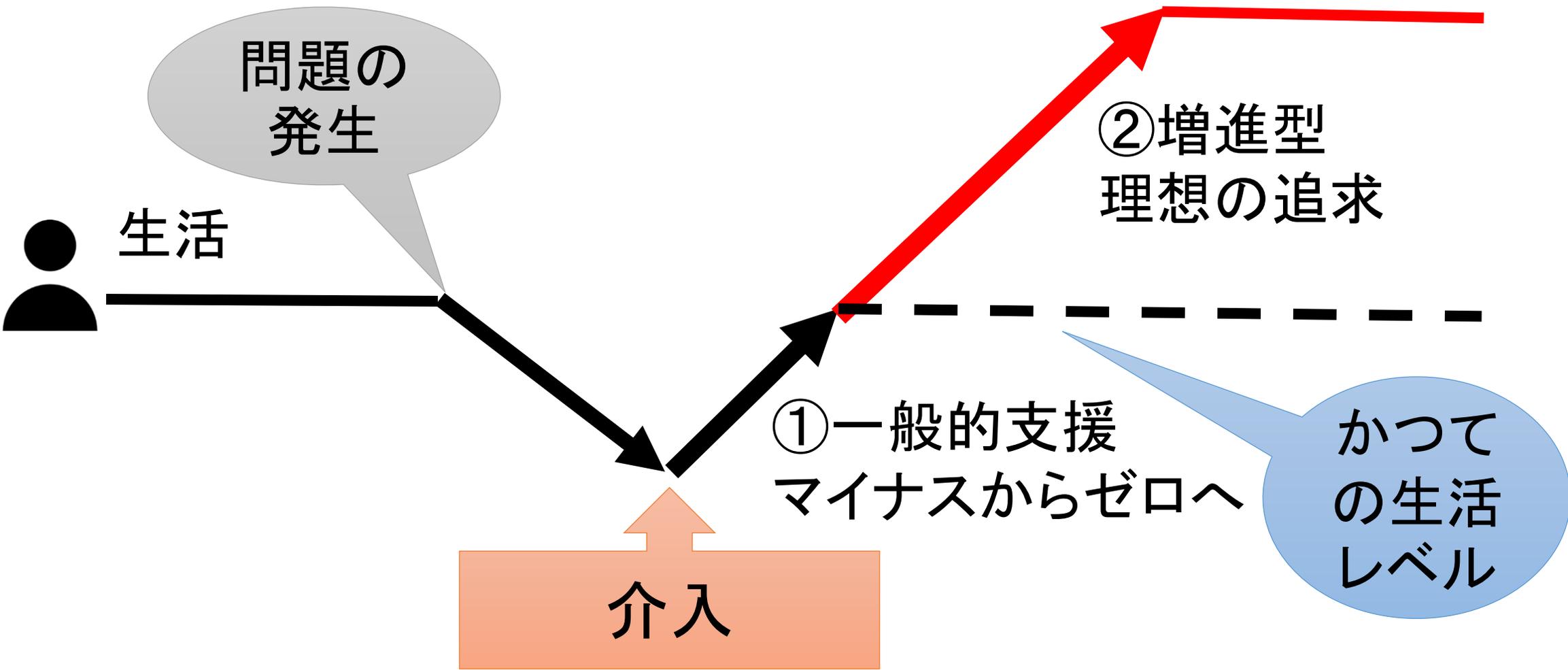
- 原因を明らかにして、それを取り除いて問題を解決する
- マイナスからゼロへ

目的実現・理想追求型

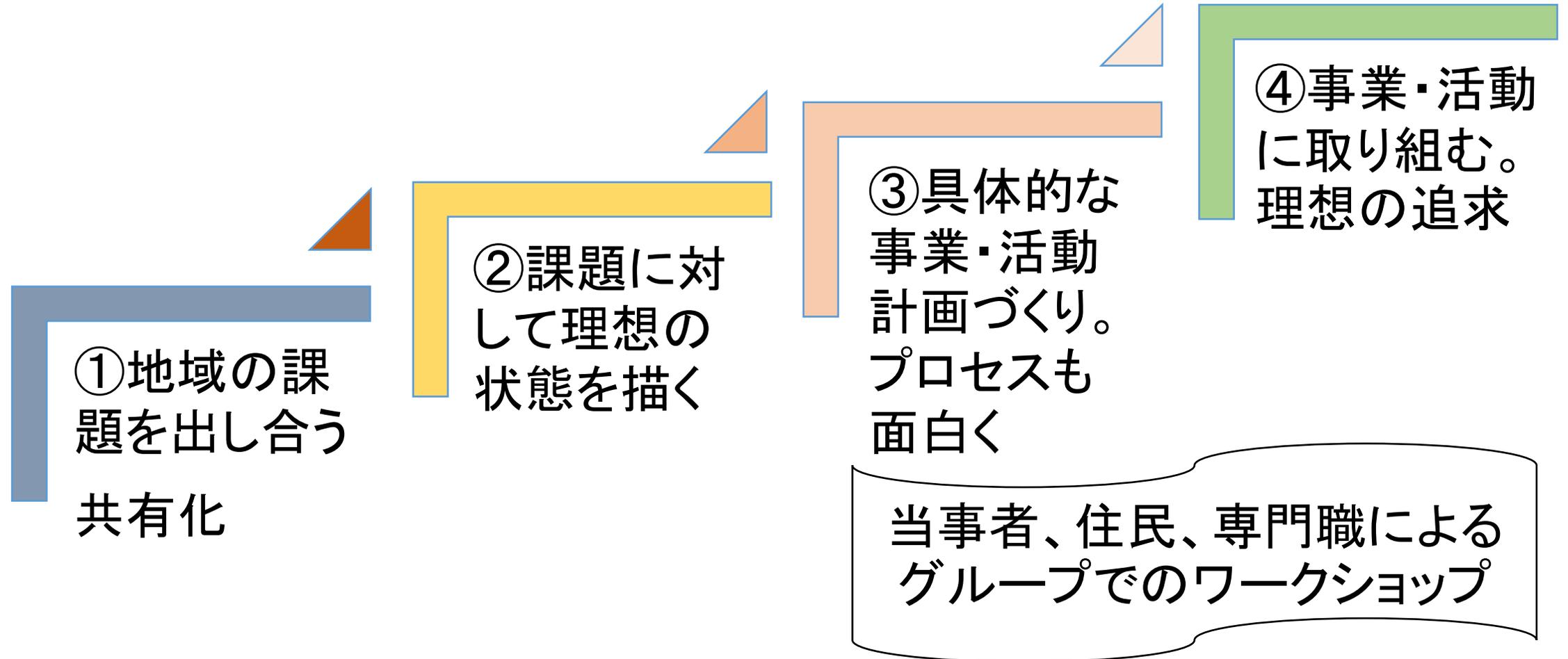
- どうなればよいかという理想を描いて、その実現を目指す
- 理想の実現へ

* まちづくり、医療、心理学、組織づくりなどの領域でも問題解決(だけ)でなく目的実現が重視されてきている。

増進型地域福祉
福祉にかかわることで幸福になる

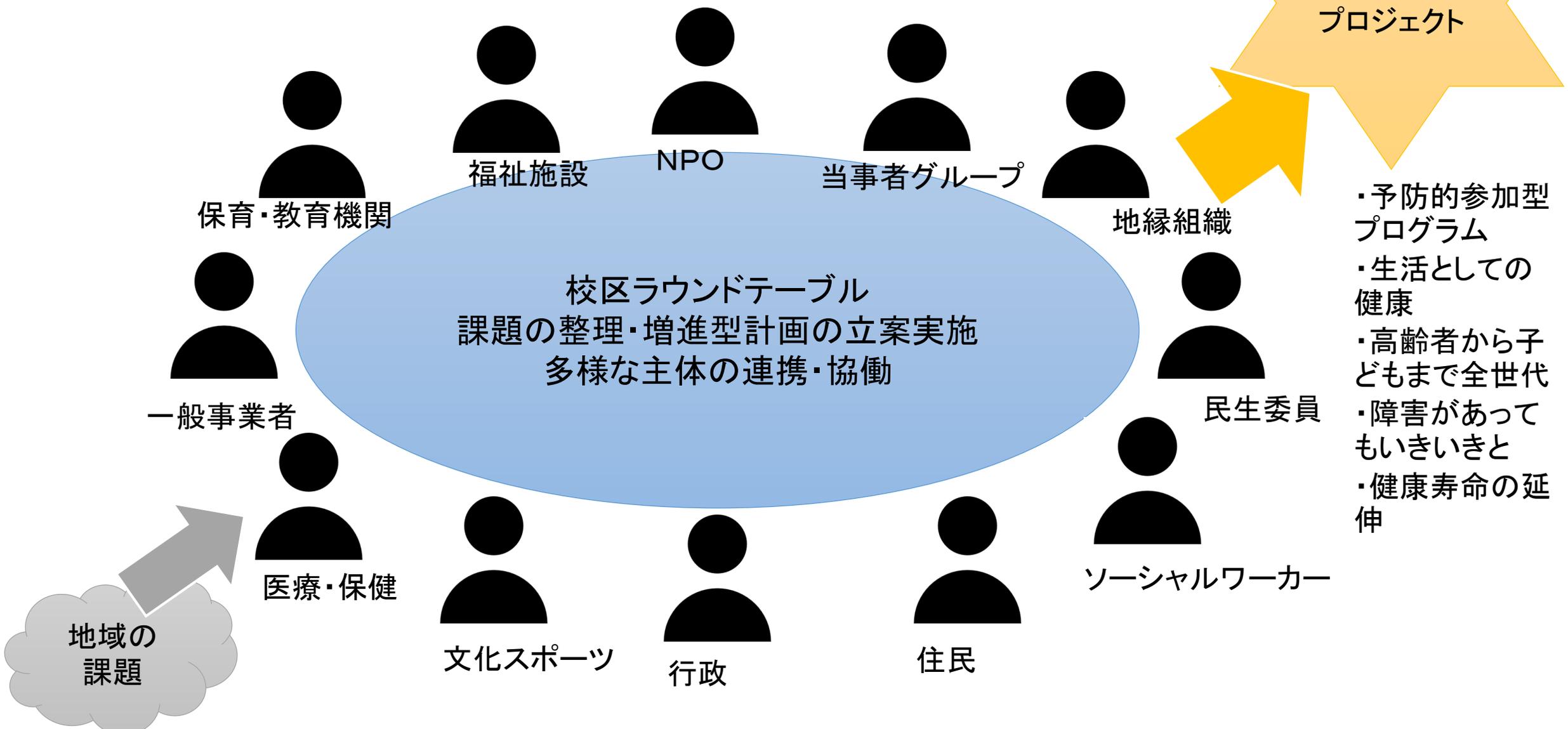


増進型地域福祉の段階



* 増進型追求の方法はひとつではない。様々な方法、可能性を探ること。

増進型の進め方(小学校区レベル)イメージ
多様な主体による対話と合意形成



最初のポイントは、理想を描けるか

- 理想を描くことができない
- 理想を言っても仕方ない、といわれている
- 理想は一人ひとり違うので、合意ができない
- **発想の転換の必要** →理想を描くことから始まる
- 理想を考える時点では、それができるかどうかで判断しない
- 面白い理想であれば、達成困難に思えてもやる気が出る
- まず理想を描き、その上で実現方法を考える
- 理想はみんな描いて追求するもの＝楽しみ

福祉＝幸せのつくり方の転換

- これまで

幸せは、それぞれが追求するもの
個人ががんばって手に入れる(個人主義的アプローチ)

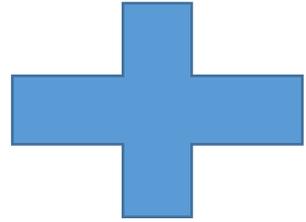
- これから

幸せは、みんなで作るもの(きょうどうのアプローチ)
成功すれば、その人だけでなく地域が幸せになる
→地域での実践の重要性

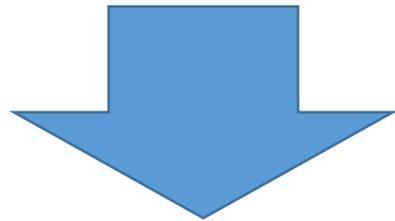
*** 地域の幸せをつくっていくことが地域福祉**

むすび 増進型地域福祉が目指すのは

•その人らしい生き方の実現



•その地域らしさの実現



•持続する幸福な生き方・社会



福祉を増進型へ

住吉区は2018年度から取り組んでできました！

* 『増進型地域福祉への展開』同時代社
小野達也・朝倉美江編著

